8　サーバス旅行を有意義なものにするために

～～～認定面談の前・旅行前に必ずお読みください～～～

★　サーバスの理念・歴史を再度ご確認ください。

★　**Letter of Introduction** について

その内容は、①　あなたの自己紹介
②　興味、関心のあることや今までに訪問した国、地域
③　どうしてサーバストラベルをしたいと思ったのかなど

平易な英語、または訪問される国の言語で書いてください。

旅行前にホストと連絡を取り、承諾の返事があれば宿泊可能で、ホスト宅に２泊することができますが､ホストの都合によってこれより短くなることやホストの好意によって長く滞在できることがあります。

デイホストはあなたと会って話をしたり、時には案内をしたりしますが、宿泊場所を提供することはありません。

宿泊については、ホストから支払いを要求されることはありませんが、宿泊を引き受けてくれるホストが必ず見つかるとは限りませんし､そのことでホストを責めることもできません。あくまでもボランテイア活動であることをご理解ください。

★　サーバストラベラーの務め

《訪問する前に》

◆　訪れる土地について、事前に調べてください。しかし、現地人以上に物知りとは考えないでください。このことについては、面談担当者があなたのお役に立つと思います。

◆　ホストが求めている予告期間を十分考慮して、宿泊希望の連絡をとってください。予告なしに突然訪問することは非常に失礼です｡ホストは宿泊場所を提供するためにその土地に住んでいるのではなく､日本からの旅行者と話し､日本について知りたいと思っているのです。ホストはいろいろな経験を持った人々との触れ合いを求めているのです。

◆　大都市ばかりでなく、地方都市にも滞在すれば、その国の本当の姿に接することがあります。そして、トラベラーの訪問を心待ちにしている、地方都市のホストも多いと思います。

◆　大抵の国では、トラベラーが直接ホストと連絡を取ることになっています。しかし、言葉の障害でホストコーディネーターと連絡を取る場合は､簡単な自己紹介､おおよその到着日、時間、アレルギー、あるいは体に障害があれば、そのことなどを書いて送ってください。いずれの場合も、LOI(Letter of Introduction)をメールに添付するか SOL で送信するか、コピーを郵送するか、いずれか可能な方法で相手に送ってください。

◆　ＮＰＲＰ（No Prior Notice Required）の表示があるホストを除き、到着日の少なくとも１日前に、ホストに再度訪問の連絡をしてください。ホストは予定を変更して、あなたを待って

いるかもしれません。

◆　早朝や夜遅くの電話・訪問は避けてください。国によっても異なりますが、おおよそ朝９時から夜９時までの間の電話や訪問は支障がないでしょう。しかし、昼休みを長く取る国もあります。

◆　ホストに訪問することを約束して、何らかの理由で行けなくなったり、約束の時間に遅れることが分かったときは、できるだけ速やかにホストに知らせてください。約束の日時にあなたが連絡なしに遅れたり、来なかった場合、ホストは非常に心配します。実際これがトラベラーについての一番の苦情となっています。どうしても、連絡が取れずに、ホスト宅を訪問することができなかったときは、ないよりはましですから、後で謝罪のはがきを出してください。

◆　決してホストに宿泊や案内を強要しないでください。サーバスはボランティア活動ですので、トラベラーを必ず受け入れなければならない義務はホストにはありません。

◆　シーツや寝袋、タオルを持参することはホストへの配慮となります。

◆　SOL には、ホストが駅まで出迎えてもよいと記載されていることがありますが、常にそうであると期待しないでください。これはあくまでも、ホストの好意であり、都合のつかないこともあります。ホストに家までの経路と地図を詳しく聞き、ホストに迷惑をかけないでください。

◆　SOL に載っているホストの情報はよく読んでおいてください。これから訪問するホストやその家庭のことについて何も知らないでは、お互いに気まずい思いをします。ホストの名前が発音できなくても、趣味や興味・関心のあることは何か、子どもは何人いるのかなどは覚えておくべきことです。

《ホスト宅到着の後に》

◆　ホストの家に到着したら、直ちに Letter of Introduction をホストに提示してください。　あなたの出発までそれを保管する人、一読して返す人、またコピーを求める人など、ホストは様々です。何れの場合においても、Letter of Introduction はあなたが真正のサーバストラベラーであることの証明となります。コ　ピーを取っておかれることをお勧めします。

◆　ホストとの交流には敏感であって、配慮深くあってください。生真面目な人、社交性のある人、気位の高い人、気軽な人、お客様として歓迎する人、家族の一員として受け入れる人など、ホストには様々な性格の人がいます。また、平和活動に深く係わっているホスト、サーバス活動についても淡白に付き合っているホストもいます。また、非常に忙しく、時間に余裕のないホスト、あなたに十分時間を割いてくれるホストもいるでしょう。しかし、ホスト個々のあなたに対する接し方は、あらゆる場合において、尊重されるものなのです。

◆　ホストと共に過ごす時間を確保し、あなたのこと、日本のことなどを語り合ってください。サーバス旅行では、　単に、その土地の観光のみに時間を費やさないでください。

◆　例え家の鍵を渡されたとしても、いつ出掛けたらよいのか、何時に帰ってきたらよいのか

ホストに聞いてください。ホストは仕事中は家にいてほしくないと思うことがあります。

◆　滞在中は気を配り、身ぎれいにし、仮に空腹でも勝手に振る舞うのではなく、まず聞いてその家のルールやスケジュールに従ってください。食事の用意や食器の後片付けなど積極的にホストに協力してください。水やお湯に不足している国もありますから、了解を得てからシャワーや洗濯をしてください。

◆　ホストからの申し出がないかぎり、２泊３日以上滞在することはできません。長期滞在可能とコラムに記載のあるホストを除き、それ以上の宿泊を強要することはできません。１泊だけの滞在は余りにも短く、双方ともにあまり意味のある訪問とは言えません。サーバスでは２泊３日が有意義であると考えています。

◆　提供された寝具､マットレスなど用意された宿泊施設には感謝の気持ちを表してください。これは、例え夫婦別室になってもホストの好意に感謝してください。

◆　ホストの国について、政治、経済、宗教はもちろん、どんなに些細なことでも、あからさまに批判することは禁物です。天気や交通事情についても批評することは避けるべきです。

◆　ホストにお金を提供したり、貸したり、あるいは交換したりすることはしないでください。しかし、ホストの経済状態を考慮することは大切です。日本からのちょっとしたお土産はホストから歓迎されます。

◆　食事は多くの場合、ホストによって提供されますが、義務ではありません。ホストと外食することがありますが、自分の分は支払うように申し出るのがよいでしょう。ホストにご馳走するのはよいが、出してもらおうと要求してはいけません。

◆　電話はホスト宅の電話を借用する場合は、必ず許しを得てから使用し、電話代支払いを申し出てください。訪問国の電話料金制度を日本と同じだと考えないでください。国によって電話料金制度にかなりの差があります。

◆　幼児を連れて旅行している時は、ホストは幼児用の食事を用意できないかもしれません。また、あなた自身が食事制限をしているときも、あらかじめホストにその事を告げ、食事を用意したほうがよいでしょう。

◆　サーバストラベラーとして認定されていない友達を連れていくことはできません。ホストに不愉快な思いをさせ、楽しい滞在とはなりません。友達には正式な面談を受け、認定されたトラベラーになるように勧めてください。

◆　ホストの価値観やその家の習慣を大切にしてください。あなたにとって不愉快なことや習慣の違いがあれば、穏やかに話し合ってみることです。

◆　サーバスは旅行代理店でも、快適な旅行を約束する、安上がりの旅行組織でもないことを、もう一度思い出してください。あなたは平和活動を理念としたサーバス旅行をしているのです。その安全と意義はあなたの良識にかかっています。しかし、万が一深刻な問題に出会ったときは、できれば（連絡が取れれば）その国の代表者に、帰国後は支部長に連絡してください。日本サーバスとして可能な限り、国際本部、当該国のサーバスに対して対応策をとり

ます。

《帰国した後に》

◆　ホストの好意に対して、お礼の手紙を出すことを強くお勧めします。

◆　所属支部長にトラベルリポートを提出してください。
書式は（サーバス旅行報告書）にあります。
日本サーバスの会報や国際本部の SI NEWS にもリポートを書くこともできます。

◆　もしあなたがトラベラー会員であるなら、改めてホスト会員になってください。サーバスはすべて会員のボランティア活動から成り立っています。